
台北川柳会・第 98 回会報 (2002 年 9 月 1 日例会) 10 首

題：「ゲーム」

ゲーム漬けに追い込む親の無関心
いくなれば外交戦は銭ごっこ

題：「育てる」

論文にほこり子育て満五年
親はなくとも育つ子に育てたい

題：「遠い」

国交断つ近くて遠い日台間
海を越え遥か息づく言霊よ

題：「近い」

日台の接近阻む親中派
断ち難い日台間の文の潮

題：「自由詠」

日本語は多重国語のブレンド語
台湾製ニホンゴという宝物

台北川柳会・第 99 回会報 (2002 年 10 月 6 日例会) 6 首

題：「約束」

果たせない約束をしたのも情け
ゲンマンの数も結果も兎は覚え

題：「寝る」

朝顔に聞く寝不足の化粧術
居眠りを合鍵と見て牧師様

題：「自由詠」

世相見て指折りめぐる詩の遍路
震災の跡を名月悲しげに

台湾川柳会・第100回会報（2002年11月3日例会）6首

※台北川柳会は第100回をもって台湾川柳会と改名した。

題：「本気」

本気にさえなれば成れると修業道
本気でもどうにもならぬ男女間

題：「待つ」

待ちきれず口にやけどを小籠包
ケイタイの嵐を浴びる待ち合わせ

題：「自由詠」

真実を言うたび叩かれる李氏
台湾はまだ美麗島テレビ消せ

台湾川柳会・第101回会報（2002年12月1日例会）6首

題：「椅子」

宋の腹旧 K 党のあるじの座
連の趣味主席の椅子にふかぶかと

題：「曲げる」

国格も人格ともに曲げられず
農民のデモで政権曲がり角

題：「自由詠」

根回しを知らず改革空回り
民主化の果実を嚙んで過去忘れ

台湾川柳会・第102回会報（2003年1月5日例会）6首

題：「ルール」

ルールには欠陥ありという敗者
乳歯抜け児が豚足とにらめっこ

題：「任す」

意地張って教育ママはぶっ倒れ
負かされた責任感が病の元

題：「自由詠」

扁政府あせるばかりの年の暮れ
年賀状新旧暦の間を泳ぎ

台湾川柳会・第103回会報（2003年2月8日例会）6首

題：「一生」

生涯を半ば越したという焦せり
一生涯建国の夢追い続け

題：「面白い」

連宋の争奪劇に娯楽価値
遊んでやるだけで満足六歳児

題：「自由詠」

正月の後は毎日残り物
天国へまた戻されて宇宙船

台湾川柳会・第105回会報（2003年4月6日例会）6首

題：「ブレーキ」

SARSが中国傾斜にブレーキを
ブレーキの踏み方にみるお人柄

題：「蹴る」

台湾の入会を蹴る WHO
屁理屈を一蹴したと夢の中

題：「自由詠」

戦火から逃げようのないただの民
安保理の存在を問う米イ戦

台湾川柳会・第106回会報（2003年5月4日例会）6首

題：「草」

騒音が春を告げてる草刈り機
手書き減り草々も亦死語になり

題：「生まれる」

抜かれてもすぐ生う庭の草の意地
サース疫人間不信をも生んで

題：「自由詠」

フセインの終わりはまるで不戦敗
SARS 戦和平病院から崩れ

台湾川柳会・第130回会報（2005年5月1日例会）6首

題：「傷」

古傷がなお痛んでる殖民後
振り向けば民主の跡は傷だらけ

題：「縛る」

中共の呪縛にはまる連と宋
縛ろうとせず反日の裏がある

題：「自由詠」

花道を路銀に連は国を売り
成長に必要なもの不登校

台湾川柳会・第131回会報（2005年6月5日例会）6首

題：「母」

母だけど困ったときは母を呼ぶ
ひとり子の母で姉友教師役

題：「選ぶ」

日課です家庭と仕事どちら取る
不投票がトップを占めた選挙戦

題：「自由詠」

子自慢をするのも親の良い薬
無理すれば何でも出来た若い頃